



平成26年11月7日

各 位

会 社 名 ア ジ ア 航 測 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 小 川 紀 一 朗  
(コード番号 9233 東証第二部)  
問 合 せ 先 責 任 者 取 締 役 副 社 長 山 井 忠 世  
(TEL. 044-969-7230)

## 新中期経営計画（2014年10月～2017年9月）策定に関するお知らせ

当社は、このたび2014年10月からの3年間を対象とする当社グループの新中期経営計画を下記のとおり策定しましたのでお知らせいたします。

記

### 1. 概要

当社グループは、10年後に目指す姿を長期ビジョン「新たな空間情報ビジネスの可能性に挑戦し、成長し続けるグローバル企業」とし、Challenge、Globalization、Valueの観点から新たな成長へのシナリオを設定し、長期ビジョン実現に向けた第1フェーズとして「新中期経営計画（2014年10月～2017年9月）～成長への挑戦！～」を策定いたしました。

### 2. 目標

新中期経営計画（2014年10月～2017年9月）の目標としては、つぎの事項を設定しております。

#### (1) Challenge

- ①コアビジネスにおける持続的成長
- ②新たな収益基盤構築への挑戦

#### (2) Globalization

海外市場へ向けての飛躍

#### (3) Value

日本を代表する空間情報コンサルタント企業の実現

#### (4) 数値目標

	2015年9月期	2016年9月期	2017年9月期
連結売上高	235億円	240億円	250億円
連結営業利益率	5%以上	6%以上	7%以上

※詳細につきましては、別添資料をご参照ください。

以上



アジア航測グループ

# 新中期経営計画 ～成長への挑戦！～

2014年10月～2017年9月（第68期～第70期）

2014年10月



## 経営理念

- 1. 事業は人が創る新しい道である**  
変革を恐れず、常に勇気と独創心を持って前進しよう
- 2. 事業は永遠の道である**  
5年先のビジョンを共有し、3年先の目標に向かって今年の計画を  
着実に達成しよう
- 3. 事業は人格の集大成である**  
人格は製品の品質に現れる。より高い自己の完成に努め社風を  
磨きあげよう
- 4. 事業は技術に始まり営業力で開花する**  
新技術の開発力と、営業力の両輪こそが我が社の企業力
- 5. 事業は社会のために存続する**  
地球の未来を創造する我が社の公共性を自覚しよう
- 6. 事業はより高い利益創造で発展する**  
誇り高い企業理念の共有と、結束したアジア航測グループの  
総合力で、より高い企業利益を創造しよう



# 1. 中期経営計画「いいものつくろう」の総括

## <中期経営計画「いいものつくろう」の実施方針>

- ①海外・民間市場を視野に入れた防災・環境・GISの各コンサルティング分野を強化
- ②いかなる事業環境変化も乗り越えられる「企業体質の強化」と「収益性の改善」

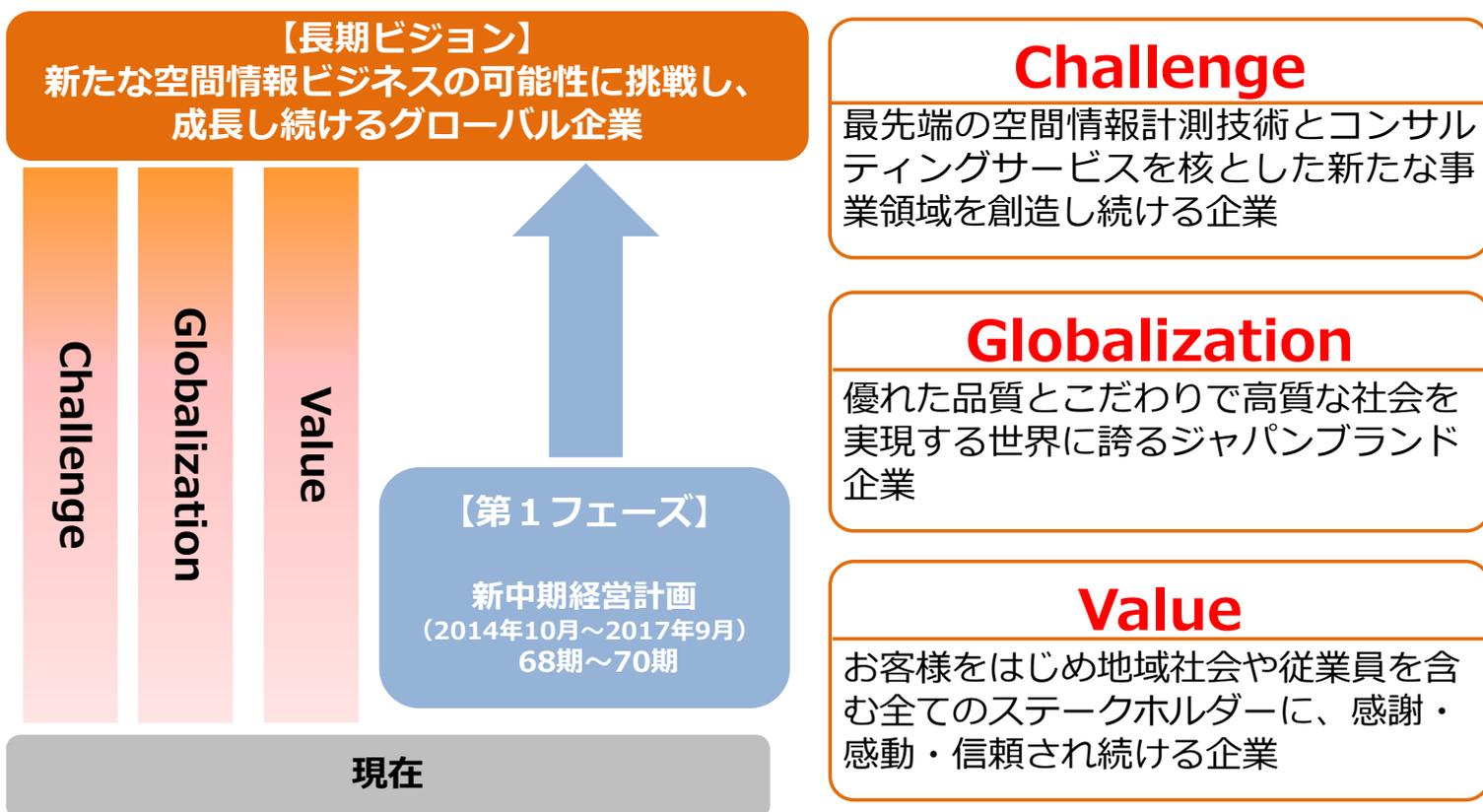
## 経営目標の達成度とレビュー

	65期 (2012年9月期)		66期 (2013年9月期)		67期 (2014年9月期)	
	目標	結果	目標	結果	目標	結果
連結売上高	190億円	215億円	197億円	205億円	205億円	226億円
連結営業利益率	2%以上	4.2%	5%以上	2.4%	7%以上	5.7%
自己資本利益率 (ROE)	2%以上	15.2%	8%以上	19.0%	10%以上	9.8%

- ✓震災復興需要に対応した人的リソースの大胆な異動による収益性の改善
- ✓Asia Air Survey Myanmar Co.,Ltd.設立をはじめとしたASEAN市場への展開
- ✓管理職年俸制導入、退職給付債務軽減、BCP策定による企業体質強化



# 2. アジア航測グループが目指す姿





### 3.新中期経営計画の目標

目標

Challenge-1	コアビジネスにおける持続的成長
Challenge-2	新たな収益基盤構築への挑戦
Globalization	海外市場へ向けての飛躍
Value	日本を代表する空間情報コンサルタント企業の実現

売上高  
(連結)



営業利益率  
(連結)

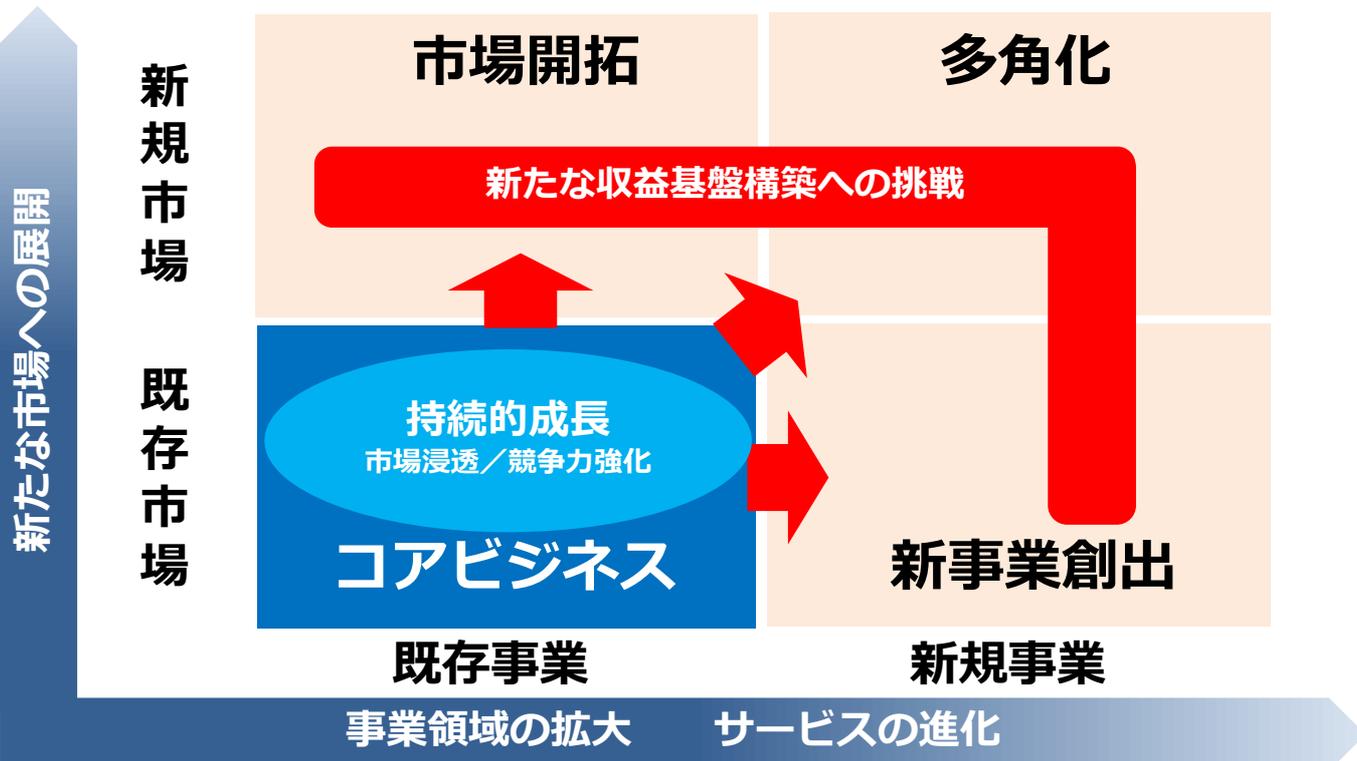


3



### 4.基本方針と事業戦略

成長へ向けて取り組む事業分野イメージ



4



## 4.基本方針と事業戦略

### Challenge

#### 基本方針

- ✓引き続き東日本復興・除染関連事業への取組を推進するとともに、復興関連事業の減少を見据えた新たな収益基盤事業を構築
- ✓社会環境の変化に対応した新事業領域、ビジネスモデルを創出・実践
- ✓既存事業の深化/進化により更なる市場浸透を図り、持続的成長を実現

#### challenge-1/コアビジネスにおける持続的成長事業戦略

##### アジア航測ブランドの実現

- 1 空間情報コンサルタントとして、最先端のセンシング技術と優れたサービスの提供を通じて、アジア航測ブランドを実現する。

##### 3D・G空間ソリューションの提供

- 2 国内外のさまざまな既存市場において、顧客ニーズにマッチした3D・G空間ソリューションを提供する。

##### 事業規模とシェアの拡大

- 3 企業コラボレーション等を積極的に推進し、事業規模とシェアの拡大を図る。

#### challenge-2/新たな収益基盤構築への挑戦事業戦略

##### 事業の多角化

- 1 新たな収益基盤構築のための事業の多角化を推進する。

##### 新たなビジネスモデルの創出

- 2 社会環境の変化に対応した新たなビジネスモデルを創出する。

##### 戦略的技術開発の推進

- 3 次世代のコアとなるビジネスの種をまく。

5



## 4.基本方針と事業戦略

### Globalization

#### 基本方針

社内のグローバル化を促進するとともに、海外事業のリソースを増強し、グローバルビジネスを展開・拡大

#### Globalization/海外市場へ向けての飛躍事業戦略

##### 社内の意識改革

- 1 社員を柔軟に全社から集め、海外事業経験者を増やすとともに社内の意識改革を図る。

##### 防災・業務GISビジネスの展開

- 2 空間情報と森林事業を核に、新たに防災・業務GISビジネスの展開を推進し、グローバルビジネスの展開・拡大を図る。

##### 海外企業等との技術交流・提携

- 3 海外のグローバル企業や各国の地場企業との技術交流や提携を促進し、ODA以外の案件形成を図る。

### Value

#### 基本方針

日本を代表する空間情報コンサルタント企業として、さらなる社会認知度を向上

#### Value/日本を代表する空間情報コンサルタント企業の実現事業戦略

##### 魅力ある企業づくり

- 1 ダイバーシティ、次世代の育成、CSR活動による社会認知度の向上などを推進する。

##### 知的生産性の向上

- 2 知的生産性の向上によりワークライフバランスを実現する。

6



## 5.コンプライアンス経営と環境経営

新中期経営計画における全ての施策は、  
「コンプライアンス経営」と「環境経営」を前提とする

### コンプライアンス経営

法令等の遵守はもとより、社会の構成員としての企業人、社会人として求められる価値観・倫理観によって誠実に行動する。それをとおりて公正かつ適切な経営を実現し、市民社会から要請に応え、当社を創造的に発展させていく。

#### 【実施施策】

1. ユニットコンプライアンス活動の推進
2. 相談・通報窓口の周知徹底
3. 階層別研修
4. コンプライアンスに係る情報発信・共有
5. 全役員向けへのテストとアンケート

### 環境経営

役員全員が自ら主役となって環境保全、環境負荷低減に取り組むとともに、空間情報コンサルタントとして、計測・調査・対策等の環境に関わる事業活動を通じ、より実践的な環境経営を推進する。

#### 【実施施策】

1. エコ・ファーストの実行
2. CSRレポートの発行

「エコ・ファースト」とは、企業の環境保全に関する業界のトップランナーとしての取組を促進していくため、企業が環境大臣に対し、地球温暖化対策、廃棄物・リサイクル対策など、自らの環境保全に関する取組を約束する制度。



本資料における見通しは、現時点で入手可能な情報により当社が判断したもので、将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。

経済情勢・競合状況・天候等に関わるリスクや不安定要因により、実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

